



# 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月14日

上場会社名 株式会社CKサンエツ

上場取引所 東

コード番号 5757 URL <http://www.cksanetu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釣谷 宏行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 松井 大輔

TEL 0766-28-0025

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	65,040	6.6	3,786	△17.3	4,255	10.3	2,422	1.3
30年3月期第3四半期	61,002	26.6	4,576	86.6	3,857	87.1	2,390	79.1

(注)包括利益 31年3月期第3四半期 2,761百万円 (△6.2%) 30年3月期第3四半期 2,944百万円 (75.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	300.34	—
30年3月期第3四半期	299.01	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	57,345	36,054	55.5	3,932.72
30年3月期	58,126	33,915	51.8	3,748.40

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 31,828百万円 30年3月期 30,129百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	15.00	—	45.00	60.00
31年3月期	—	30.00	—		
31年3月期(予想)				30.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	7.9	5,000	△17.5	5,100	△13.5	3,200	△12.0	398.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	8,867,000 株	30年3月期	8,867,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

31年3月期3Q	773,776 株	30年3月期	829,176 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	8,066,083 株	30年3月期3Q	7,996,156 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国を中心に、堅調に推移しましたが、米中の貿易摩擦の影響で、中国におけるハイテク製品の生産が急減し、日本からの半導体製造装置の輸出は減少しました。わが国経済は、企業物価が上昇し、労働力市場は逼迫したままで実質的に完全雇用の状態にありました。当社グループ（当社及び連結子会社）の主要原材料である銅の建値は、第1四半期連結会計期間にトン当たり80万円台を付けましたが、第2四半期連結会計期間以降はやや下落して同70万円台で推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は650億40百万円（前年同期比6.6%増加）となりました。一方、営業利益は、当第3四半期連結累計期間において銅相場が下落し、原料相場差損が発生したため、37億86百万円（同17.3%減少）となりました。経常利益は、前年同期に2億12百万円発生した原料相場のリスクヘッジのためのデリバティブ損失が発生せずデリバティブ利益を57百万円計上し、また、前年同期に6億3百万円発生したデリバティブ評価損が発生せずデリバティブ評価益を2億28百万円計上したため、42億55百万円（同10.3%増加）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は24億22百万円（同1.3%増加）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①伸銅

伸銅事業では、販売量は8万644トン（前年同期比0.5%増加）となりました。売上高は544億17百万円（同5.1%増加）となり、セグメント損益は22億92百万円（同38.9%減少）のセグメント利益となりました。

## ②精密部品

精密部品事業では、売上高は32億82百万円（前年同期比8.3%増加）となり、セグメント損益は1億97百万円（同266.1%増加）のセグメント利益となりました。

## ③配管・鍍金

配管・鍍金事業では、売上高は73億41百万円（前年同期比18.6%増加）となり、セグメント損益は10億70百万円（同85.2%増加）のセグメント利益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は407億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億6百万円減少しました。これは主に、たな卸資産が6億97百万円減少したことによるものであります。固定資産は165億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円減少しました。この結果、資産合計は573億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億81百万円減少しました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は190億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億93百万円減少しました。これは主に、短期借入金が14億70百万円、未払法人税等が11億26百万円減少したことによるものであります。固定負債は22億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億26百万円減少しました。この結果、負債合計は212億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億20百万円減少しました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は360億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億39百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が24億22百万円であったことによるものであります。この結果、自己資本比率は55.5%（前連結会計年度末は51.8%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月10日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	801	1,112
受取手形及び売掛金	24,995	24,160
商品及び製品	5,461	5,102
仕掛品	5,472	4,826
原材料及び貯蔵品	4,552	4,859
その他	291	796
貸倒引当金	△98	△89
流動資産合計	41,475	40,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,199	10,302
減価償却累計額	△4,845	△5,088
建物及び構築物(純額)	5,353	5,213
機械装置及び運搬具	20,517	20,845
減価償却累計額	△18,229	△18,675
機械装置及び運搬具(純額)	2,287	2,169
土地	6,508	6,577
建設仮勘定	155	343
その他	1,554	1,637
減価償却累計額	△1,348	△1,424
その他(純額)	205	212
有形固定資産合計	14,511	14,517
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	212	286
その他	20	18
無形固定資産合計	232	304
投資その他の資産		
投資有価証券	1,416	1,279
退職給付に係る資産	26	26
繰延税金資産	404	390
その他	258	58
貸倒引当金	△199	△1
投資その他の資産合計	1,907	1,753
固定資産合計	16,650	16,576
資産合計	58,126	57,345

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,746	6,747
短期借入金	10,740	9,270
未払金	119	177
未払費用	800	748
未払法人税等	1,480	354
賞与引当金	921	376
設備関係支払手形	444	286
その他	604	1,104
流動負債合計	21,858	19,064
固定負債		
長期借入金	279	160
繰延税金負債	401	355
再評価に係る繰延税金負債	280	280
引当金	29	—
退職給付に係る負債	1,112	1,192
その他	247	236
固定負債合計	2,352	2,225
負債合計	24,211	21,290
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,756	2,756
資本剰余金	4,339	4,339
利益剰余金	23,224	24,981
自己株式	△856	△802
株主資本合計	29,464	31,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127	19
土地再評価差額金	565	565
為替換算調整勘定	△26	△32
退職給付に係る調整累計額	△1	△0
その他の包括利益累計額合計	664	552
非支配株主持分	3,786	4,225
純資産合計	33,915	36,054
負債純資産合計	58,126	57,345

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	61,002	65,040
売上原価	53,348	58,137
売上総利益	7,653	6,903
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	794	799
給料及び手当	771	804
退職給付費用	32	19
貸倒引当金繰入額	16	—
その他	1,462	1,493
販売費及び一般管理費合計	3,077	3,117
営業利益	4,576	3,786
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	24	23
デリバティブ利益	—	57
デリバティブ評価益	—	228
業務受託料	36	36
その他	108	187
営業外収益合計	169	535
営業外費用		
支払利息	7	8
為替差損	—	20
デリバティブ損失	212	—
デリバティブ評価損	603	—
その他	66	37
営業外費用合計	888	66
経常利益	3,857	4,255
特別利益		
固定資産売却益	0	5
投資有価証券売却益	54	0
補助金収入	32	37
その他	6	—
特別利益合計	93	42
特別損失		
固定資産除却損	1	0
固定資産売却損	—	38
投資有価証券売却損	10	—
その他	—	3
特別損失合計	12	42
税金等調整前四半期純利益	3,938	4,255
法人税等	1,245	1,373
四半期純利益	2,693	2,881
非支配株主に帰属する四半期純利益	302	458
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,390	2,422

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	2,693	2,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	182	△114
為替換算調整勘定	2	△5
退職給付に係る調整額	67	0
その他の包括利益合計	251	△119
四半期包括利益	2,944	2,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,628	2,310
非支配株主に係る四半期包括利益	316	451



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	51,783	3,029	6,188	61,002
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,205	54	0	3,260
計	54,989	3,083	6,189	64,262
セグメント利益	3,752	53	578	4,384

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,384
セグメント間取引消去	603
全社費用	△411
四半期連結損益計算書の営業利益	4,576

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	54,417	3,282	7,341	65,040
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,058	51	0	3,110
計	57,475	3,333	7,342	68,151
セグメント利益	2,292	197	1,070	3,559

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,559
セグメント間取引消去	599
全社費用	△373
四半期連結損益計算書の営業利益	3,786

(重要な後発事象)

該当事項はありません。